

2013 年度以降 入学生	情報リテラシー実践Ⅱ A	科目種別	基礎科目群	単位数	2	特別申請科目
2012 年度以前 入学生	情報リテラシー実践Ⅱ A	科目種別	基礎教育科目	単位数	2	特別申請科目
担当教員	時間割参照	後期	月～金曜日	2・3・4限		
①授業方針・テーマ	実践的な課題を通して、基礎的な統計処理とデータベースによる問題解決に取り組む。					
②習得できる知識・ 能力や授業の目的・ 到達目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 統計学の基礎を理解し、データ分析の知識・技能を身につける</li><li>・ データベースの特徴や機能を理解し、具体的な操作を行うことができる</li><li>・ 以上に挙げた情報活用能力に加え、総合的問題思考力、論理的思考力、能動的学修姿勢、倫理観・社会的責任の自覚を習得できる</li></ul>					
③授業計画・内容	<p>統計学の基礎とデータ分析</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 情報倫理講習会、授業ガイダンス、統計ソフトの紹介</li><li>2. 統計学についての基礎知識(データの種類、基本統計量、度数分布、ヒストグラムなど)</li><li>3. 母集団と標本(平均・分散の推定、正規分布、t分布など)</li><li>4. 平均の差の検定(1)(対応のあるデータについての t 検定)</li><li>5. 平均の差の検定(2)(対応のないデータについての t 検定)</li><li>6. 独立性の検定</li><li>7. 比率の差の検定</li><li>8. 相関分析</li><li>9. 回帰分析</li><li>10.課題提出のための実習</li></ol> <p>データベース</p> <ol style="list-style-type: none"><li>11.データベースの特徴(表計算ソフトとの違い)</li><li>12.データベースの機能(1)(テーブル、フォーム)</li><li>13.データベースの機能(2)(レポート、クエリ)</li><li>14.データベースの機能(3)(リレーションシップ)</li><li>15.まとめ</li></ol> <p>【授業外学習】eラーニングシステム上のコースウェアや、担当教員が公開する資料などを用いて、予習や復習、課題への取り組みを十分に行うこと。</p>					
④テキスト・参考書等	eラーニングシステム上に標準コースウェアを設置する。 クラスによっては担当教員から別途、指示される場合がある。					
⑤成績評価方法	<p>以下の観点に基づき総合的に評価する(詳細は担当教員が提示する)。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 授業への出席</li><li>・ 提示される課題や発表</li><li>・ 情リテ情報倫理テスト</li></ul>					
⑥特記事項	<p>前期の情報リテラシー実践IまたはIAの内容を十分に理解していること。 本授業では統計解析ソフトウェア「JMP」を主に使用するが、一部のクラスでは「R」を導入する予定があるため、履修の方法と併せて教務課の掲示を確認すること。</p> <p>【質問受付方法】担当教員により異なるため、授業ガイダンスの際に提示する。</p>					